

防犯ブザーを選ぶポイント

① 見た目も機能もシンプルなブザーを

子ども自身が操作するものなので「ひもを引く」、「ボタンを押す」などワンアクションで操作するもの。



② 音の大きさや止め方をチェック

鳴らしても周囲に気づかれなければ防犯効果が期待できません。

安心のためにも大音量がおすすめです（**85dB以上**）。購入時に確認できなければ、購入後に確認しましょう。電池の残りが少なければ音は小さくなるので、たまには家族と一緒に鳴らしてみましよう。止め方もブザーによって違うので確認しましょう。



85dB（ピアノの音、
救急車のサイレン）

100dB（地下鉄構内、
電車が通るガード下）

③ 壊れにくいもの

丈夫につくられていて、防水・防滴などの機能がついたもの

④ ランドセルに取り付けやすいもの

一般的にランドセルの肩ベルトの金具にひっかけて使う事が多いですが、このままだとブザー本体がフラフラしてしまい、いざという時に手に取れないほか、衝撃によって壊れてしまうことも。



肩ベルトに100円ショップなどで売っている面ファスナーでブザーを固定するなどの工夫があるとよいでしょう。

子どもにブザー選びをまかせるとキャラクターなどデザインが目がいきがちです。

学校で禁止されている可能性もあるので、性能、機能性重視で親と一緒に選んであげるのをおすすめします。



お問い合わせ先

生活こども部 消費生活課 消費者支援・防犯係
電話 027-226-2356 FAX 027-223-8100